

**BỘ GIÁO DỤC VÀ ĐÀO TẠO
TRƯỜNG ĐẠI HỌC QUẢN LÝ VÀ CÔNG NGHỆ HẢI PHÒNG**



ISO 9001:2015

KHÓA LUẬN TỐT NGHIỆP

NGÀNH: NGÔN NGỮ ANH – NHẬT

**Sinh viên : Vũ Thị Ngọc
Giảng viên hướng dẫn: ThS. Phạm Thị Huyền**

HẢI PHÒNG - 2019

教育訓練賞
ハイフォン経営・技術大学

ハイフォン私立大学における
日本人の断り方について

卒業論文

専門：英語－日本語学

学生：ブル ティ ゴク
指導教官：ファン ティ フェン, M.A

ハイフォン - 2019

BỘ GIÁO DỤC VÀ ĐÀO TẠO
TRƯỜNG ĐẠI HỌC QUẢN LÝ VÀ CÔNG NGHỆ HẢI PHÒNG

NHIỆM VỤ ĐỀ TÀI TỐT NGHIỆP

Sinh viên: Vũ Thị Ngọc Mã SV: 1512753056

Lớp: NA1901N

Ngành: Ngôn ngữ Anh – Nhật

Tên đề tài: 日本人の断り方について

NHIỆM VỤ ĐỀ TÀI

1. Nội dung và các yêu cầu cần giải quyết trong nhiệm vụ đề tài tốt nghiệp (về lý luận, thực tiễn, các số liệu cần tính toán và các bản vẽ).

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2. Các số liệu cần thiết để thiết kế, tính toán.

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

3. Địa điểm thực tập tốt nghiệp.

.....

.....

.....

CÁN BỘ HƯỚNG DẪN ĐỀ TÀI TỐT NGHIỆP

Người hướng dẫn thứ nhất:

Họ và tên: Phạm Thị Huyền

Học hàm, học vị: Thạc sĩ

Cơ quan công tác: Đại học Quản lý và Công nghệ Hải Phòng (Đại học Dân lập Hải Phòng)

Nội dung hướng dẫn: 日本人の断り方について

Người hướng dẫn thứ hai:

Họ và tên:.....

Học hàm, học vị:.....

Cơ quan công tác:.....

Nội dung hướng dẫn:.....

Đề tài tốt nghiệp được giao ngày ... tháng năm

Yêu cầu phải hoàn thành xong trước ngày tháng năm

Đã nhận nhiệm vụ ĐTTN

Sinh viên

Đã giao nhiệm vụ ĐTTN

Người hướng dẫn

Hải Phòng, ngày tháng.....năm 20....

Hiệu trưởng

GS.TS.NGŨT Trần Hữu Nghị

CỘNG HÒA XÃ HỘI CHỦ NGHĨA VIỆT NAM
Độc lập - Tự do - Hạnh phúc

PHIẾU NHẬN XÉT CỦA GIẢNG VIÊN HƯỚNG DẪN TỐT NGHIỆP

Họ và tên giảng viên:

Đơn vị công tác:

Họ và tên sinh viên: Chuyên ngành:.....

Nội dung hướng dẫn:

.....

1. Tinh thần thái độ của sinh viên trong quá trình làm đề tài tốt nghiệp

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2. Đánh giá chất lượng của đề án/khóa luận (so với nội dung yêu cầu đã đề ra trong nhiệm vụ Đ.T. T.N trên các mặt lý luận, thực tiễn, tính toán số liệu...)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

3. Ý kiến của giảng viên hướng dẫn tốt nghiệp

Được bảo vệ Không được bảo vệ Điểm hướng dẫn

Hải Phòng, ngày ... tháng ... năm

Giảng viên hướng dẫn

(Ký và ghi rõ họ tên)

CỘNG HÒA XÃ HỘI CHỦ NGHĨA VIỆT NAM
Độc lập - Tự do - Hạnh phúc

PHIẾU NHẬN XÉT CỦA GIÁO VIÊN CHĂM PHẢN BIỆN

Họ và tên giảng viên:

Đơn vị công tác:

Họ và tên sinh viên: Chuyên ngành:

Đề tài tốt nghiệp:

.....

.....

1. Phần nhận xét của giáo viên chăm phản biện

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2. Những mặt còn hạn chế

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

3. Ý kiến của giảng viên chăm phản biện

Được bảo vệ Không được bảo vệ Điểm hướng dẫn

Hải Phòng, ngày ... tháng ... năm

Giảng viên chăm phản biện

(Ký và ghi rõ họ tên)

目次

ありがたい	3
I.はじめに	4
II. 内容	6
1.断りについての簡単	6
1.1 断りは	6
1.2. 断りを恐れている心理	6
1.3. 人生におけ断りの必要性。	7
2. 日本人にとって断り	9
2.1 日本人のコミュニケーションにおける美しさ	9
2.2 断りにかする日本人の見方	10
2.3.日本断りに影響する要因	11
3.日本人の断り方	14
3.1 直接の断り方	14
3.1.1 断という動詞を含める直接の断り方	14
3.1.2. 不可能の言葉で 直接断り方	15
3.2. 間接断り方	18
3.2.1.理由（主観的、客観的）	20
3.2.2. 要求	21
3.2.3.疑問の表現（棄却、不定、もう一度尋ねる）	22
3.2.4. 阻止する、不定、棄却	24

3.2.5.代替案	24
III. 結論。	26
参考資料	27

ありがたい

卒業論文が作成する間に、私はたくさんの助けと時宜^{じぎ}を得た支援を受けて、割り当てられた卒業課題をよく修了するためにすべての困難^{こくふく}を克服^{しょうらい}するように奨励^{しょうらい}した。本当に ありがとうございます。

まず、ハイフォン私立大学のチャン・フー・ギ (Trần Hữu Nghị) 校長にお礼を申しあげたいと思います。校長先生のおかげで、最初の卒業式の仕事を受けてくれて、時間通りに卒業できたのです。私は心から感謝します。

チャン・テイ・ゴック・レン (Trần Thị Ngọc Liên) 学部長をはじめ、ハイフォン私立大学の外国語学科の先生に感謝することを表したいと思います。レン先生は価値のある情報、タイムリーなサポートと熱狂^{ねっきょうてき}的なガイド^{ていきょう}を提供^{ていきょう}してくれました。だから、私が時間通りに卒業する機会を逃さないようになります。

特に、私は4年間教えて、3ヶ月間私の論文を完成するのを指導してくれた日本語教師のファム・ティ・フエン (Phạm Thị Huyền) 先生に非常に感謝しています。フエン先生は熱心な先生で、忙しい仕事なのに、できるだけ多くの学生を支援するために自分の貴重な時間を調整してくれました。先生は心をこめて教え、それぞれの間違いを細かく修正して、それにフエン先生に多くの役に立つ知識を与えました。そのおかげで、今日私は学校が割り当てた卒業の仕事を完了することができます。心からお礼を申しあげました。

本論文は多くの欠点がある、私は各先生からのご意見を受けたいと思います

本当にありがとうございます。

学生

ブウ テイゴク

I. はじめに

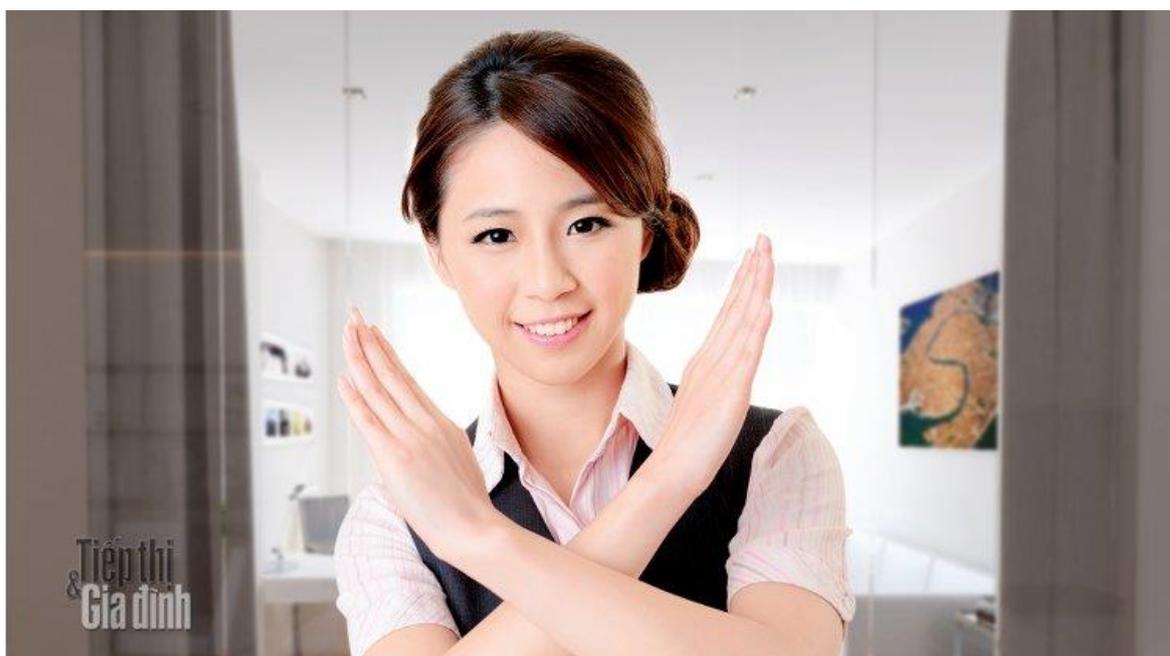
日本はベトナムを含めて世界のいろいろな国に影響をあたえる国だ。。近年、経済、文化、教育といった多くの分野においてベトナムと日本の良好な協力のとともに、ベトナム人の日本語学習の需要が激増している。しかし、^{りょうこくかん}両国間のコミュニケーションに成功するためには、お互いに言葉を理解するとともに、お互いのコミュニケーション文化に詳しくて尊重するのが非常に重要な役割も果たす。しかし、実際のコミュニケーション文化の違いは、コミュニケーションの誤解を招く^{しょうへき}障壁となる。ときには、文化の違いや母国語から悪影響のせいで^{かんちが}勘違いじゃなくて、それはコミュニケーションの^{けいべつ}軽蔑と失礼だと思っている人もいる。日本のような言葉に^{しんちよう}慎重の国に対して、「なにに気をつくべきか」、「どんな文章を選ぶべきか」は大切な質問となる。

日本の映画を定期的に見たり、しばしば日本人と付き合ったりする場合、自分自身に[どうして日本人はそんなくろくろであいまい言う方をつかっているん?]と質問をしたことがある。愛を言うのと同じように、なぜ彼らはめったに「愛してる」を使わないのだから。その代わりには「あなたに大好き」だけだ。あるいは、コップ一杯を飲むように誘われたときは、それが^{めいかく}明確に「いいえ・はい」と答えることにしないで、、「結構」だけ言う一方だけ。やはりは聞き手の感情は、あらゆるコミュニケーションにおける優先される要素だ。この言う方に対して、^{びみょう}利き手は微妙に日本の話し方を理解する。

この論文では、私は日本人の断り方を^{げんきゆう}減給させていただきたい。これを日本のコミュニケーションの^{ぎじゆつ}技術の一つとみなすこともできる。

この論文はあなたに日本の独特な断り方の見識を持ってきてほしい。また、日本人のあいまい言う方も誤解ごかいを避けてあげてほしい。

断りの行為における日本人の特徴を説明するために、この論文では断りについての簡単、日本人にとって断り、日本人の断り方の3つの重要な内容に別れられた。



II. 内容

1. 断りについての簡単

1.1 断りは

断りは要求された内容を受け入れることを拒否^{きよひ}する

– 断りは他の人が提案したり、尋ねたり、申し出たりすることに対する「ノーと言う」だが、私自身は好きではなく、欲しくもなく、できません。

– 私たちは別の見方をすることができる、断りは私自身にとって「はい」の言葉だ

1.2. 断りを恐れている心理

断りはその性質が聞き手の願望と意志に反するものであるため、誰かに率直^{そつちよく}に断りことは非常に困難なことである。それで、時々私達は断りを恐れている心理を持つことが多くて、他人からの苦勞を自分にもらった。

しかし、人生では、多くの人が過度に他の人に依頼したり依頼したりすることを好む、すなわち以来を悪用している。それはほんの小さなタスクでもしたくない。例えばレポート、エッセイまたはテストを他の誰かに尋ねる。そのうち、彼らは誰も自分にレポートを持っていることを知らない。。助けを求める人は、他の人を利用することを好む人だ。解決することが本当に不可能な場合は、近くの人に助けを求めることだ。求める頻度^{ひんど}が高ければ高いほど、それはその人の本性を示すことである可能性が高い。それで誰かに助ける前に、少し力を失いたくないで、スムーズに物事を解決したい人には用心してください。あなたができないことにノーと言う方法を知っていて、自分自身に圧力をかけることをしないでください。

私たち自身も他人を喜ばせたいと思う傾向^{けいこう}がある。同僚の目には、相手に傷つけたり失望させたり、あるいは熱心で勤勉な従業員^{じゅうぎょういん}のイメージを悪化させることを恐れている。考え続けることを拒む前に、私たち自身、「もう私たちのような人がいるのかわからない」、「関係を維持できるのかわからない」と自分に聴く。さらに、仕事の中に私たちは自分のために機会を逃すことを恐れているので拒否することを恐れている。任せた仕事を拒否すると、能力を発展す機会を逃したり、上司の信頼を逃したりすることがある。したがって、目に見えない断りは罪悪感を感じさせ、利己的で醜^{みにく}いと感じる。



1. 3. 人生における断りの必要性。

この文章を知っている

「成功した人々のためのパターンはなくても、失敗した人々のための共通の分母がある。それはいつもみんなを喜ばせたい人のタイプだ」。

それについて考えてみて、私たちが人生のすべてに断りを恐れているとき、私たちが不自然に嫌いな場所に行き、いくつかのよりのカップを飲んで家をうんてんしなきゃいけない。自分ができないことをやろうとしているのだ、。。そうすると、私たちこそストレスやミスなど深刻な影響を受けることもある。。それはすべてを喜ばせたいと思う人々の肩に命圧をますます重くする。

そのような状況では、断りは本当に必要になる、それは他の人から与えるトラブル逃げらせる。招待状、要求、または要求によってうっからずに、自分の考えと行動を監督^{かんとく}できる。できるかできないかのこととしたほうかしないほうかのことを向かうこと。これはあなたの任務の目標を達成するためにより多くの時間ををあげるだけではなく、あなた自身のために一定の価値をも生み出す。当時で断りすることはもはや利己的で邪悪なことではなく、単にあなた自身の正当な利益を尊重し保護^{ほご}することだ。同じことを拒否^{けんり}することは人間の正当な権利であり、それがあなたに備えるたのに必要なスキルでもある。

NO!



2. 日本人にとって断り

2.1 日本人のコミュニケーションにおける美しい

日本は昔から、激しくても美しい自然の島国として知られてきました。朝日の土地に来たら、春の雨に合わせて咲く桜の花に簡単に魅了される。夏の藤で紫な坑道、冬になると山中湖の富士山を覆う白い雪の床。すべてが素晴^{すば}らしい美しさを作り、全世界を魅了する。

そのような自然の美しさは、何千もの世代から日本人を鼓舞^{こぶ}し育てていたようだ、お祭りや伝統的な習慣にからして入っていた日常生活にはいる、文化的な生活をする^{こぶ}ことで、彼らの精神^{せいしん}は豊かで活気のあるものになる。挨拶^{あいさつ}、食事^{しょくじ}、謝罪^{しゃざい}から、日本の典型的な美しさを形作り^{かたち}る。このあつかう方は、優しい、丁寧^{ていねい}な、控えめ^{ひか}な日本人についての国際的な友人の印象を残した。コミュニケーションの文化は、日本人の意識を表現するだけでなく、世界を誇^{ほこ}りにしている日本人にふさわしい文明と見なすこともできる。



2.2 断りにかする日本人の見方

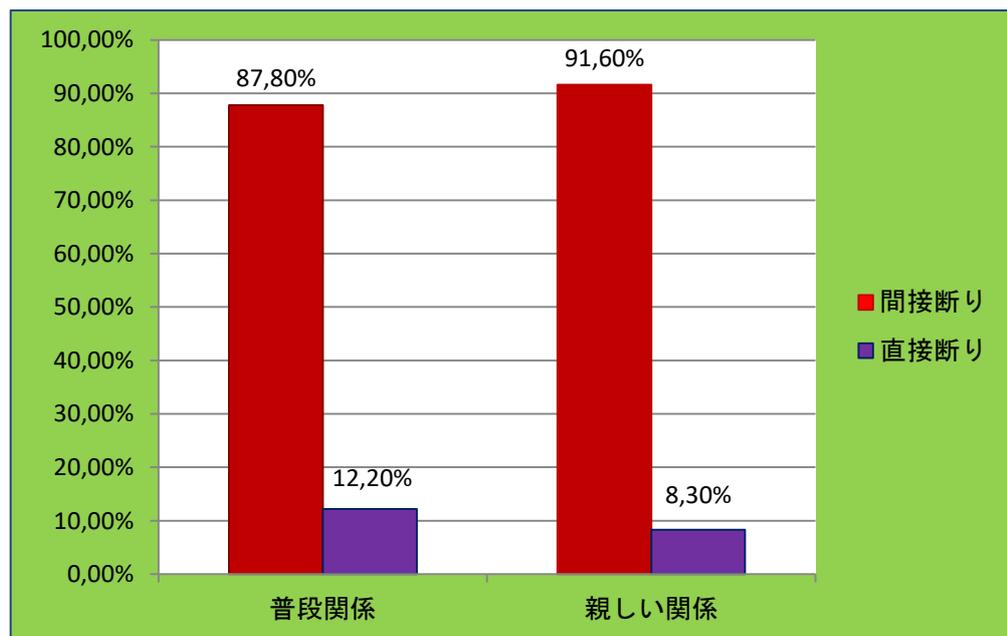
日本は回復力のある人々だ。資源に乏しい国で、自然に苛酷で歴史^{れきし}に苦しんでいる今もなお世界の大国であり、その中核的価値観は日本人だ。自尊心、自尊心は日本では、日本の子が家族でおしえられ、がくせいが学校でならい、大人は職場と人生において成長する品質だ。それは日本人は助けを求めることを非常に恐れており、本当に必要な場合にのみ依頼という理由だ。したがって、日本人に対する拒絶はさらに困難になる。彼らの個人的な側面では、これは常に相手を考えているという考えから来ている。彼らは招待を受けるとき相手の意図を考え、彼らは他の人がそれを求めるならば彼らは仕事の緊急性を考慮するので、日本人は一般に拒絶することに^{しょうきよく}消極的であり、必要な場合には気がありません。彼らが拒絶反応を使用するならば、彼らはまた敵へのダメージを減らすようにとても巧みにそして繊細に話すことを選ぶ。それを否定している日本人の特徴の一つは、「ノーと言わない」だ。感謝を重視し、不和を避け、不必要な対立を避ける。 。ベトナム人や一部の西欧諸国にとって、日本の拒絶は確かに賢明^{びみょう}で微妙だが、時にはそれは紛らわしいだ。それはまた、地理学がそれ自身で大小の

島によって分けられ、しばしば予測不可能な自然災害^{しぜんさいがい}に苦しんでいる国では、日本人は連帯^{れんたい}と友情の重要性を理解している。国の神々は、一緒に暮らすためにお互いに依存している。したがって、関係の平和要素は、常にすべての日本のコミュニケーションの頂点^{ちやうてん}に置かれている。

2.3. 日本断りに影響する要因

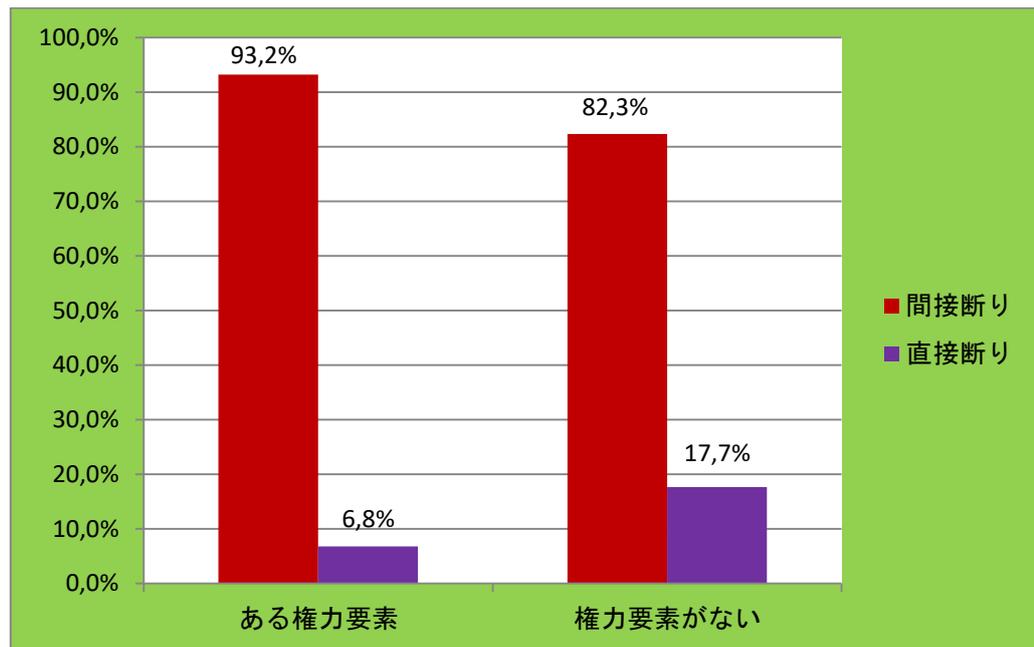
断りの行為^{せんたく}の選択に対する社会文化的要因の影響に関する調査における Ngo Huong Lan 博士（北東アジア研究所、日本研究センター）の研究からのデータによると、断り方法の選択に影響を与える3つの主要因がある

2.3.1 話者と聞き手間の社会的関係要因（ボディーマインド）

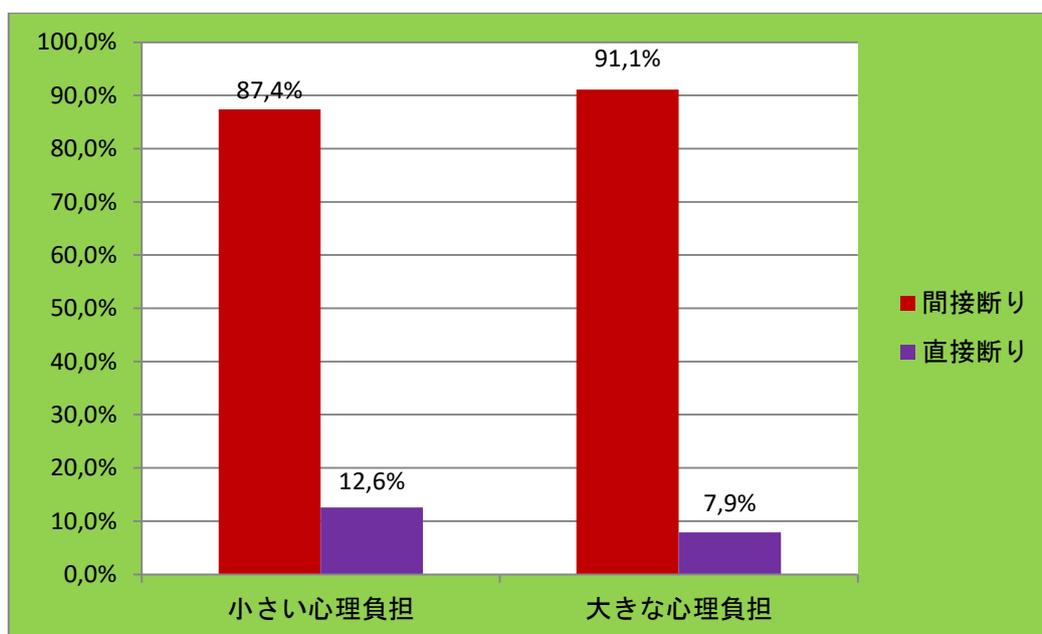


上の表から、試験の^{ききやく}棄却の仕方が常に日本人に一般的であるけれども、それが親密な関係においてさらにもっと使われているのを見る。これはベトナム人の拒否とは異なる。通常、ベトナムの人々は^{しんみつ}親密な関係よりもむしろ通常の関係で間接的に拒絶する傾向がある。

2.3.2。話者と聞き手の間の社会的権力の係数



2.3.3.、断りの際の心理的負担と文化的要因



つまり、上記の研究から、我々は日本の拒絶に影響を与える要因について以下のように述べている。

否定方法に関しては、日本人学生は直接拒否よりも間接拒否方法を使用する。理由、^{やくしよく}役職、^{みっせつ}変わり法案、感謝などの方法だ。そのような場合、日本人はそれ以上のフォローアップを拒む傾向があり、話者と聞き手の関係は密接であり、話者と聞き手の間には高いレベルの社会的権力があり、そして大きな心理的負担がある。

「親社会的」な水平方向の大きさの要因は、垂直的な「社会的な力」の要素よりもむしろ日本の拒絶の礼儀正しい^{せんりやくてきせんたく}戦略的選択を強く支配している。日本人は部外者よりも親戚に対する拒絶反応に慎重である（直接拒絶反応の使用率は低い、高い間接拒絶反応、そして多くの礼儀正しい戦略である）。日本語は「聞き手ベースのインタラクション」の言葉だが、その言葉の言い方では、サインが多用されており、必ずしもすべてのものを言語化する必要はない。

3. 日本人の断り方

3.1 直接の断り方

3.1.1 断という動詞を含める直接の断り方

上記のように、日本人は直接の断りというのを避ける。したがって、動詞「断る」を使用はめったに見えない。いくつかの場合、この断り方は強力な拒否の場合に使用された

例。 「なんとかしてコミュニケーションをとりたいな…」

「面倒なのでお断りするわ。」

ベトナム語でも、拒絶の中心的要素として動詞動詞を使用することはめったに見えない。率直に言って、ベトナムや日本のような東洋の文化の観点には、「私はことわる」は相手に恥ずかしくさせ、傷つけるのであまり使用しない、使用せば、部下と家族や親しい友人のような親密しんみつな関係の人に対して使用だけ。

例。以下、ベトナム人の会話から例えを引用させていただける

- 今晚一緒に晩御飯ばんごはんを食べに行きませんか
- えーと、今晚は役職があるんだが、断らざる。

上の例のもとに、断り意志も直接に使用された、だが言う人は「断らざる」で「したくない」態度を述べた。つまりはベトナム人も日本人のように直接断る。だが、どちらでも、理由を出すことが多い。それは話し手の躊躇いて迷いの態度を表すというものからだ。

3.1.2. 不可能の言葉で 直接断り方

「いや」や「ダメ」や「いいえ」といった不定言葉は実際にあまりしよされない。使用する場いは親し関係に対するだけ。

兄：「お菓子と飲み物適当に買ってきてくれない。僕今レポート忙しんだけど。」

弟：「いや。」

兄：「だめか。そこを何とかしてよ。お願い。」

弟：「いやだ。なんで僕が行かなきゃいけないんだよ。自分でいけよ。」

いくつかの場合は不可能の言葉を直接に使用しないで、不定の意味を持つ言葉の使用する。この言う方は日本語でかなり一般だ。話し手は「無理」や「ダメ」や「できない」や「そう思わないが」や「いやだ」「難しい」、「そうもないと考える」といった言で丁寧に断る。

例。

①先輩：「お菓子と飲み物を買ってきてくれない。お金を渡すから。」

後輩：「忙しいから無理だ。すみません。」

ここで、後輩は先輩の頼むことを断るために直接的な断り方法を使った。「無理だ」という不定的な意味の言葉を使ったとともに、「忙しい」と理由を出すなどのほかの断りの作戦が使われた

②先生：え〜と、5月30日に学会があって、ちょっと手伝ってほしいんだけど、空いている時間でいいから手伝ってくれないか。

学生：あのう〜、ちょっとできないのだが、すみません。武田君はその日大丈夫と思いますが、頼んでみましようか？

この例の中、先生に断るとき、「できない」の直接的な断り方法を使った。でも、あのうの言葉で、^{よど}澁む態度を述べた。これは相手が顔をつぶるのを避ける。^{つか}塚また、謝りと変わりの法案を使った。

例。

「彼女が座るか座らないうちに、彼は突然芸者を世話してくれと言った。

「世話するって？」

「分かってるじゃないか。」

「いやあねえ。私そんなことと頼まれるとは夢にも思って来ませんでしたわ。」と、彼女はふいと窓へ立って行って国境の山々を眺めた^{なが}が、そのうちに^{ほお}頬を^そ染めて、

「ここにはそんな人ありませんわよ。」

「^{うそ}嘘をつけ。」

「ほんとうよ。」と、くるっと向き直って、窓に腰をおろすと…」

【雪国一川端やすなり】

この会話で、彼女は芸者を世話すると要求を断るために直接と間接な方法を使った。まず、「世話するって」と聞き替えるの間接な断り方法だ。それは相手の依頼に対して疑いを述べた。そのあと、「いやあ

ねえ。私そんなことと頼まれるとは夢にも思って来ませんでしたわ」不定の意味を含める言葉をつかった。あくまで、「ここにはそんな人ありませんわよ。」の不定の言葉の核心な要素を含める直接断り方を使用した。

	単語	文法
不可の表現	いや、無理、だめ、めんどくさい、	V-ない (できない、行かない、食べない、買わない…)
	難しい できない、そう思わない	V-可能性+ない (食べられない、行けない、買えない) V _{加能敬} - そうもないと考える

つまり、直接的な断りをあまり使用されなかったが、日本語では直接的な断りは表現方がたくさんある。「断る」の動詞を使用方と不可能の言葉を使用方といった二の言う方が別れ得る。それでも、二方法で共通点きょうつうてんが優しく気が付けるのは不定の要素は一人じゃなくて、けるのは不定の要素は一人じゃなくて、辛口さを減少するようにほかの成分せいぶんヲを随行するほかの成分せいぶんヲを随行する。

3. 2. 間接断り方

日本人は人間関係において「和」という字を重視している。彼らは、関係が直接的のあまり拒否することによってひび割れたくないのだ。だから彼らの多くの良い拒絶を持つのは相手とパートナーの心をつかむ。たとえば、好きではない料理を招待された場合、まず「ありがとうございます」と言って、招待者に感謝する。。招待や提案を拒否したい場合は、拒否する意味で「ちょっと」と言う。「ちょっと」はとても便利な言葉で、誰か呼び出すとき、または何かを拒否したいときに使用できる

なんにか拒絶することも、日本人は、相手にもっと満足してもらうことができるようにくろくろに言う方を使うことが多く、。そのため、きき手ーは話し手が実際に伝えたいコンテンツを判断するために自分に考えや感情かんじょうを使わなくてはいけない、。たとえば、職場では、日本人が顧客こきゃくとの取引を拒否したいときによく使用する典型的な文は「剣頭けんとうしている」がある。「けんとうしてむ」とは「見直す」という意味だが、幸せではない。実際、この文は「良い答えを期待しないでください」という意味だ。以下は日本人の典型的な断り方てんけい

①. 助けたい希望を出す

- 手伝いますたいけど
- 力になりたいけど私も金欠で今日は寂さびしく

かな

②. 弁明して、理由を説明する

- 明日は予定があるので
- 曜日は私がちょっと余事があるんだが

- は具合が悪いから、すみません

③、提案された代替

- 違う日であれば
- 別の日出ればいいだよ
- 親とかに相談してみれば

④、約束をもう一度

- ほとんどの日で具合がいい日があればその日でもいいかな
- 度何かあったら、言ってください
- また今度お願いします

⑤、個人的な意見を日本語で示す

- 明日はゆっくりしたいだ
- 私は手が回らないと思います
- すぐにその額ちょっと貸せないかな

⑥、条件を指定してください

- 時間ももらえば後でやる
- 明後日なら、できるよ。

⑦、相手の意思を阻止する

- かの人で適当な人はいないだか
- 出来たらほらのに頼んだ

⑧、アドバイスをする

- もし少し待っていただいてよろしだ
- そのことには 田中氏が詳しくて、彼氏に依頼したほうがいいと思います。

⑨. もう一度尋ねる

- 明日だか？
- 僕だか？
- 交代するですか

⑩. すみません、ありがとう

- 申し訳ないけど
- ごめんけど.
- すみませんが、.

Ngo Huong Lan の研究によると、上記の方法は以下の式に要約することができる。

3.2.1. 理由（主観的、客観的）

拒絶の理由がすべての^{げんご}言語で共通の方法である。直接断りの拡張形式は似通^{にかよ}うが、否定するという目的を表す核心成分がない。理由表現は、主観的^{にかよ}理由と客観的^{にかよ}理由という2つのに分類できる。

客観的な理由で断りすることは、話者の意志、時間、力、感情…に関係なく存在の理由を述べることだ。断りのため客観的な理由^{こうりよ}を考慮することは日本語の好ましい方法だ「好きでないものを、何も迷うことないじゃないか。」

例。

①. 部長：今度の新商品の販売企画を君に任せてほしいと思っているんだが、どうかな。

李：部長、私を指名してくださったことはとてもうれしいのですが、私には荷が重すぎます。もっと適任者を捜していただけませんか。

部長・：君ならやれると思うんだが。

李：ありがとうございます。でも、部長や会社にご迷惑を掛けることになってはいけませんから、やはり辞退させてください。

②「そうはいかないわ。」

「結婚て、そんな力があるかな。」

「いやらしい。そうじゃないけど、女は身のまわりがきちんとかたづいていないと、いられないの。」

好きではない人と結婚しないようにというアドバイスに答えて、少女は客観的な理由、女性は物事をきれいに保つために、自分の家になるための場所があると期待できる」そのアドバイスを拒否するという意味だ。

3.2.2. 要求

日本語において要求の表式、低レベルから高レベルの範囲で、丁寧な表現レベルで様が多い。

Vて/Vなさい/Vてください

Vてくださいませんか/Vていただけませんか

Vていただけますでしょうか

例

①「急で送らないといけないいけない書類があるんだけど、今木村さんにお問い合わせできるか。」

「すみません。今日中に終わらせなければならぬ仕事はまだあるので、他の人に聞いていただけないでしょうか。」

②「お姉ちゃん、今月お金やばいから一万円貸してくれない

「え~いつも、やめてよ。あたしもほしいものあってさ。」

③「新しいソフトを買ったんだけど、使い方が分からなくて困っています。悪いけど、明日教えてくれませんか。」

「あ~、ごめん！明日はちょっと。他の人に当たってみて。」

④「急で送らないといけないいけな書類があるんだけど、今お願いできるか。」

「申し訳ありません。今別の仕事をしていて、それがまだ終わりそうにないので、別の方に頼んでいただいてもよろしいだか。」

3.2.3. 疑問の表現（棄却、不定、もう一度^{たず}尋ねる）

日本人々にとって、疑問の^{こうぞう}構造の間接断り形式を使っている。特に要求の価値がある疑問表式。これは日本語で高レベルの礼儀を持つ断りモデルと見なされる。後の質問/要求表現を含む間接断りの構造は非常に人気がある。

。
 Vて+ いただけませんか/いただけないでしょうか

例

「ちょっといいだか。」

「はい」

「急で送らないといけない書類があるんだけど、今お願いできるか。」

「大変申し訳ありませんが、私自身やるべき作業があるので、他の人に聞いていただけませんか。」

要求の価値がある疑問構造を使用することに加えて、日本人はききやく棄却で否定的な意味を持つ質問構造を使用する。ただし、この話し方にとっては多少不快にさせて、あまり使用されません

例

① 「君から頼んでみてくれよ。」

「私がどうしてそんなことしなければならないの？」

「友達だと思ってるんだ。友達にしときたいから、君は口説かないんだよ。」

「それがお友達ってものなの？」と、女はつい誘われて子供っぽく言ったが、後はまた吐き出すように、

「えらいと思うわ。よくそんなところが私に頼めになれますわ。」

② 「だから呼んでくれよ。」

「今

「うん。」

「驚くわ。こんな真昼間に何もおっしやれないでしょう？」)

「屑が残るといやだよ。」

3.2.4. 阻止する、不定、棄却

要求された内容を、否定的または肯定的な反論をするために
ものがたりこうぞう
物語構造を使用することはすべての言語で共通の方法だ。日本語では、
この拒否は高い「顔面脅威」のため使用率が低く、直接拒否法に非常に
近い。

例。

①では、志村 - 技術者に電話して彼に奉仕するよう技術者に電話
するよう頼んだゲスト - 志村の要求に応じて、駒子は現状を上げまし
た。その要望は、客が不適切な申し出を撤回することを明らかにした。
(4.1) 「世話するって？」

「分かってるじゃないか。」

「ここにはそんな人ありませんわよ。」

② 道は凍っていた。村は寒気の底へ寝静まっていた。駒子は裾こまこすそ
をからげて帯おびはさに挟んだ。月はまるで青い氷のなかの刃のように登のぼるみ出
ていた。「駅まで行くのよ。」「

き気ちがい。おうふくいちり往復一里もある。

「あんたもう東京へ帰るんでしょう。駅を見に行くの。」島村は肩
から腿まで寒さに痺れた。

3.2.5. 代替案

「代替を提案する」という拒絶の表現は、コミュニケーションの
目的との関係の積極的な維持いじを示している。断りを実現しているが、

話し手はコミュニケーションの目的の特定の願望^{がんぼう}と提案を満たすために、代替ソリューションを提^{ていきょう}供しようとする。それで、代替方法表現は、日本語の断り方で広く使用されている。

例

① 「あのう、ちょっと、お願いがあるけど、いいだか。」

「うん、何？」

「実はね、この間、新しいソフトを買ったんだけど、使い方わからなくて困っています。悪いけど、明日教えてくださいませんか。」「明日、10時から友達と約束してるから。その前後、もしくは別日でもいい？」

「そうだか。分かりました。」

②

先輩：李君、悪いんだけど、ちょっとこのコピーをしてもらえない？

李：ごめんなさい、今、急ぎの仕事を抱えているので、他の人に頼んだほうがいいと思います。

先輩：あ、そう。じゃ、他の人に頼むよ。

つまりは間接断りは日本人に過半数をしよされている。聞き返す、棄却、理由を出す、途中の文、要求するなど間接の断り戦^{せんりやく}略はしょつちゅうに使用している。その時、聞き手は話し手が本当に伝えたいことをわかるために自分の感情と考えと使用しなくちゃいけない。この言う方はかなり同^{どうよう}様の国で一般だが、誤解を与えやすい。

III. 結論。

以下は日本人の断り方を説明した。日本人は断りを恐れて、「ノ」を絶対に言わない。彼らの断り方も直接と間接の二つに分かれる。社会関係、権力、心理負担によって、断り方を選んでいる。普段は、関係が親しければ、権利の要素が低ければ、心理負担が小さければ、直接断り方を選んだ。

しかし、直接断り方はあまりしよされない（10%以下）。「断る」との動詞と不可能の言葉といった要素は重要な成分。この要素は一人でじゃなくて、ほかの成分が随行することが多い。例えば、感謝して、謝るして、理由を出す。直接断るといっても、相手に傷つける辛口を避けている。

間接の断りは他半数の倍を占めている（90%以上）。はきはきに断らないで、聞き返す、棄却、理由を出す、途中の文、要求するなど間接の断り戦略はしょっちゅうに使用している。その時、聞き手は話し手が本当に伝えたいことをわかるために自分の感情と考えと使用しなくちゃいけない。この言う方はかなり同様の国で一般だが、誤解を与えやすい。

あなたに日本人の断り方に関する有益な情報を持ってきてほしい。さらには、日本人と付き合うときの留意も持ってくる。りっぱりなあまりの言う方を避け及び、日本人のくろくろな断り方を誤解しないようにしている。

論文は欠陥がまだあって、完全よりもう意見を貢献していただけない。

ありがとうございます

す

参考資料

1. 日本人とベトナム人の断り行為の研究

2. 日本人は断り表現において丁寧さをどう判断しているか :
長さ と 適切性からの分析

https://kuis.repo.nii.ac.jp/?action=repository_action_common_download&item_id=258&item_no=1&attribute_id=18&file_no=1

3. 日本語における断り方略 https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/files/public/3/38837/20160120104653161464/ReportJTP_20_42.pdf

4. 日本語学習者にみられる「断り」の表現 ——日本語母語話者と比べて——

カノックワン ラオハブラナキット*

<https://www.jpf.go.jp/j/project/japanese/archive/globe/07/07.pdf>

5. 依頼に対する断り談話

<https://www.jpf.go.jp/j/project/japanese/archive/globe/07/07.pdf>

<https://www.jpf.go.jp/j/project/japanese/archive/globe/07/07.pdf>

6. 「学習者のためのベトナム語と日本語の断り表現について」
<http://ds.libol.fpt.edu.vn/bitstream/123456789/2397/1/%E5%8D%92%E8%AB%96.pdf>

7. 依頼に対する「断り」の言語行動について—日本人と台湾人の大学生の比較—
<https://core.ac.uk/download/pdf/144454330.pdf>